

かわごえ 議会だより

Kawagoe town council

令和6年9月定例会・9月臨時会 子ども議会だより (中とじ)

令和5年度決算	2～3
議会の要旨、あらまし	4～5
臨時会	5
一般質問 (6議員)	6～11
まちの元気な人	12

No.182

令和6年11月1日発行
三重県川越町議会

令和5年度決算 身近な事業

☆川越町ボランティア活動拠点施設「ささえあい」

156,020,654円

川越町のボランティア活動の普及・推進を図ることを目的として建設しました。



☆キャッシュレス決済システム

1,351,780円

診療所会計窓口でのキャッシュレス決済を導入しました。



☆議会用ICT機器整備事業

1,600,216円



タブレット端末を導入し、ペーパーレス化を図るなど業務効率化と環境に配慮した取り組みです。

☆地区公民館改修工事

463,852,400円

令和5年度より町内10地区の公民館長寿命化改修工事が着手され、初年度は上吉、亀須、亀崎の公民館の改修工事が完了しました。



亀須公民館

モニターの皆様からの意見

議会だよりモニターの皆様からいただいた第181号に対するアンケート調査の結果をご紹介します。

Q「議会に合った写真の方がいい」

A「本年度は「公園で遊ぶ子どもたち」をテーマにしておりますが、今回は子ども議会の写真を使用いたしました。

Q「傍聴者のご意見が記載され、いい企画です。」

A「ありがとうございます。今後も続けて参ります。」

Q「『委員会Q&A』も『一般質問』と同様に動画QRコードを付けられないのですか？」

A「委員会が開催される会議室は録画設備がないため、本会議のみの配信となります。」

Q「『2040年問題』明和町視察の記事内容からもあまり判明せず、ちょっとした説明文があるのもっと理解が深まるのでは。」

A「2040年には労働力不足が予想されており、役場窓口のデジタル化について研修してきました。」

Q「7ページの稲塚議員の他の質問は右上のQRコードからご覧ください」の注意書きはGood!

A「お褒めいただき、ありがとうございます。」

Q「10ページと11ページの『質問者の思い』はGood!全議員についても記載してください。」

A「『質問者の思い』の記載は各議員の意思にお任せしております。」

Q「『まちの元気なひと』『まちの施設』は議会だよりに記載する必要はないと考える。」

A「このページは60%の良い評価をいただいているのですが、今後検討してみます。」

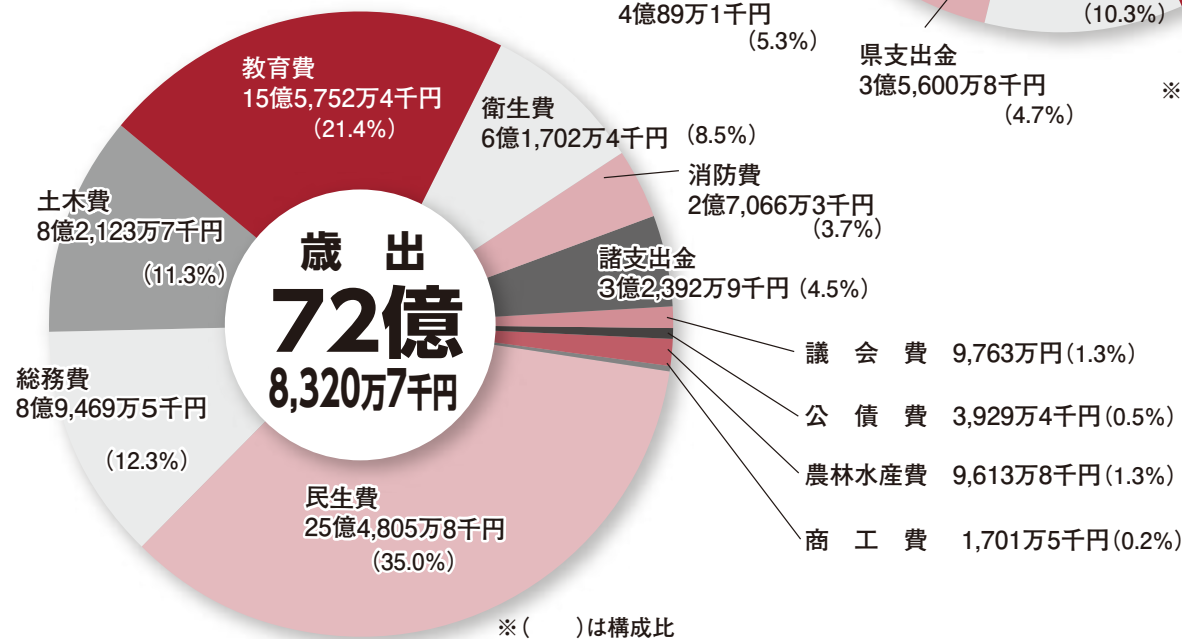
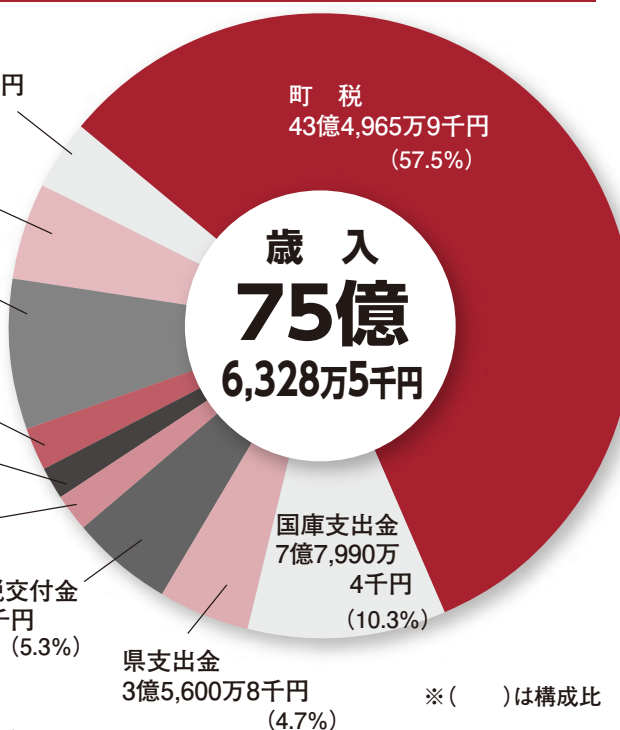
Q「No.177の議会だより5ページの議会のヤル気!8項目の進捗状況を記載してください。」

A「主な項目については順次掲載しております。」

令和5年度決算を認定!

分担金及び負担金	4,204万2千円
地方譲与税	5,609万9千円
使用料及び手数料	3,683万4千円
自動車取得税交付金	40万4千円
環境性能割交付金	659万円
株式等譲渡所得割交付金	2,098万8千円
法人事業税交付金	5,366万8千円
地方交付税	494万8千円
地方特例交付金	2,591万1千円
配当割交付金	1,907万3千円
利子割交付金	94万8千円
交通安全対策特別交付金	170万4千円
寄附金	743万7千円

その他	2億7,664万6千円 (3.7%)
町債	3億6,620万円 (4.8%)
繰入金	5億9,900万4千円 (7.9%)
諸収入	1億6,291万4千円 (2.2%)
財産収入	1億1,654万9千円 (1.5%)
繰越金	1億5,551万円 (2.1%)
地方消費税交付金	4億89万1千円 (5.3%)



令和5年度会計別決算状況

区分	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	75億6,328万5千円	72億8,320万7千円	2億8,007万8千円
国民健康保険(事業勘定)	13億8,583万5千円	13億5,983万2千円	2,600万3千円
(診療施設勘定)	12億3,418万3千円	12億1,504万7千円	1,913万6千円
介護保険	1億5,165万2千円	1億4,478万5千円	686万7千円
後期高齢者医療	8億7,127万4千円	8億4,792万7千円	2,334万7千円
合計	100億1,650万7千円	96億8,383万1千円	3億3,267万6千円

公営企業会計

	収入	支出	差引
水道事業	3億2,101万2,147円	3億2,544万 580円	△442万8,433円
	4,178万8,649円	6,853万5,229円	△2,674万6,580円
下水道事業	10億 447万3,673円	9億5,283万4,574円	5,163万9,099円
	7億5,743万 944円	10億3,141万 960円	△2億7,398万 16円

その他の	議案 第45号	教育委員会委員の任命について【任期は4年】 寺本芳隆（豊田一色）	（即）	同意
	議案 第46号	人権擁護委員の推薦について【任期は3年】 牧野孔美（再任）	（即）	同意
	議案 第47号	工事請負契約の締結について ●工事名 南福崎公民館長寿命化改修工事 ●契約方法 一般競争入札 ●契約金額 1億8,169万8千円 ●契約相手方 株式会社大藤工務店 ●概要 屋上防水、外壁、建具、内装、電気設備、空調設備及び給排水設備等、建物全体の改修工事を行うもの。	（即）	可決
	議案 第48号	工事請負契約の締結について ●工事名 高松公民館長寿命化改修工事 ●契約方法 一般競争入札 ●契約金額 1億6,335万円 ●契約相手方 生川建設株式会社 ●概要 屋上防水、外壁、建具、内装、電気設備、空調設備及び給排水設備等、建物全体の改修工事を行うもの。	（即）	可決
	議案 第49号	工事請負契約の締結について ●工事名 北福崎公民館長寿命化改修工事 ●契約方法 一般競争入札 ●契約金額 1億3,240万7千円 ●契約相手方 株式会社藤井建設 ●概要 屋上防水、外壁、建具、内装、電気設備、空調設備及び給排水設備等、建物全体の改修工事を行うもの。	（即）	可決
報告	議案 第50号	損害賠償の額の決定について 地方公共団体情報システムの標準化に関する法律に基づき、戸籍システムを標準準拠システムへ移行するため、戸籍システム機器等リース契約を解除するあたり、相手方に生じる損害に係る賠償の額を決定するもの。	（即）	可決
	議案 第63号	工事請負契約の締結について ●工事名 川越中学校建設工事 ●契約方法 一般競争入札 ●契約金額 76億2,427万6千円 ●契約相手方 青木あすなろ・松岡特定建設工事共同企業体 ●概要 老朽化した川越中学校の校舎を現地（豊田一色地内）で建て替えるため、新校舎の建設工事、既存校舎の解体工事及び外構工事等を行うもの。	（即）	可決
	報告 第7号	例月出納検査の結果報告について 一般会計・国民健康保険特別会計・介護保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・水道事業会計・下水道事業会計 令和6年5月分・6月分・7月分	—	—
	報告 第8号	議員派遣の報告について ○総務建設常任委員会視察研修 ○第76回三重県町村議会議長会定期総会・自治研修会 ○三重郡議会議長会正副議長会議	—	—
	報告 第9号	令和5年度健全化判断比率の報告について	—	—
	報告 第10号	令和5年度資金不足比率の報告について	—	—
	報告 第11号	令和5年度教育委員会の点検と評価報告について	—	—

9月臨時会

令和6年第3回臨時会が9月30日に行われた。副議長選挙を行い、森英郎議員が当選した。
また、町長より議案2件の提案があり、審議後原案可決した。

議案のあらまし（全会一致）				
区 分	議 案 番 号	議 案 名		議 決 果
		あ ら ま し		
令和6年度 補正予算	議案 第64号	工事請負契約の締結について ●工事名 当新田公民館長寿命化改修工事 ●契約方法 一般競争入札 ●契約金額 1億2,182万5千円 ●契約相手方 株式会社トヨタータルデザイン川越営業所 ●概要 屋上防水、外壁、建具、内装、電気設備、空調設備及び給排水設備等、建物全体の改修 工事を行うもの。		本議会即決 可 決
	議案 第65号	動産の取得について（追認） ●動産名 小学校教師用指導書 ●取得金額 735万5,370円 ●契約方法 随意契約 ●契約相手方 北洞書店 ●概要 議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、 事前に議会の議決に付すべき動産の買入れであったため、追認を求めるもの。		本議会即決 可 決

第3回 9月定例会

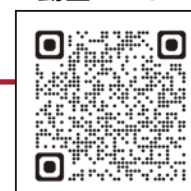
令和6年第3回定例会は、9月5日から19日までの15日間の会期で行われた。初日は、6人の議員が町長に対して一般質問を行い、続いて町長より議案18件の提案があり、審議後、7件を原案可決、同意した。議案11件は、各委員会に付託され、審査することとなった。その後、選挙を1件行い、全員当選した。
最終日には、各委員会に付託された案件及び追加提案された議案1件を全て原案可決、認定した。

議案のあらまし（全会一致）				
※付託先欄 総…総務建設常任委員会 教…教育民生常任委員会 決…決算特別委員会 即…本会議即決				
区分	議案 番号	議 案 名		議 決 果
		あ ら ま し		
補正予算 令和6年度	議案 第51号	一般会計補正予算（第1号） 586万9千円を追加し、予算総額を80億9,758万7千円とする。	（総・教）	可決
	議案 第52号	介護保険特別会計補正予算（第1号） 124万8千円を追加し、予算総額を8億6,354万8千円とする。	（教）	可決
	議案 第53号	下水道事業会計補正予算（第1号） 収益的収入について209万9千円を減額し、収入の総額を9億9,561万1千円とし、 収益的支出について440万円を増額し、支出の総額を9億9,316万円とする。 資本的収入について6万4千円を減額し、収入の総額を6億4,844万7千円とする。	（総）	可決
令和5年度 決算認定	議案 第54号	一般会計歳入歳出決算認定について 歳入決算額 75億6,328万4,901円 歳出決算額 72億8,320万6,859円 歳入歳出差引額 2億8,007万8,042円	（決）	認定
	議案 第55号	国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について 〔事業勘定〕 歳入決算額 2億3,418万2,827円 歳出決算額 12億1,504万6,858円 歳入歳出差引額 1,913万5,969円 〔診療施設勘定〕 1億5,165万1,537円 1億4,478万5,326円 686万6,211円	（決）	認定
	議案 第56号	介護保険特別会計歳入歳出決算認定について 歳入決算額 8億7,127万4,006円 歳出決算額 8億4,792万7,496円 歳入歳出差引額 2,334万6,510円	（決）	認定
	議案 第57号	後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について 入決算額 1億9,611万3,139円 歳出決算額 1億9,286万4,637円 歳入歳出差引額 324万8,502円	（決）	認定
	議案 第58号	水道事業会計決算認定について 〔収益的収支〕 収入額 3億2,101万2,147円 支出額 3億2,544万 580円 差引額 △442万8,433円 〔資本的収支〕 4,178万8,649円 6,853万5,229円 △2,674万6,580円	（決）	認定
	議案 第59号	下水道事業会計利益処分及び決算認定について 〔収益的収支〕 収入額 10億 447万3,673円 支出額 9億5,283万4,574円 差引額 5,163万9,099円 〔資本的収支〕 7億5,743万 944円 10億3,141万 960円 △2億7,398万 16円	（決）	認定
	議案 第60号	川越町家庭の保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について 関係法令の改正に伴い、当該条例の改正を行うもの。	（教）	可決
	議案 第61号	川越町国民健康保険条例の一部改正について 関係法令の改正に伴い、当該条例の改正を行うもの。	（教）	可決
条例改正等	議案 第62号	三重県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議について 当該規約の一部変更に関し、関係する地方公共団体と協議することについて議決を行うもの。	（即）	可決

日本赤十字社の地域奉仕団を設置する考えは

結成に向けた意欲が高まってきたときには必要な支援を行っていきたい（町長）

▼動画はこちら



早川 茂樹 議員

答 福祉課長
町は必要な活動の支援や協力、広報活動などに関わっている。ものであると考えている。

再 行政はどのようななかかわり方ができるのか。

答 町長
地域の中心となる活動の趣旨に賛同し、活動の中心となる方や団体、地域住民の結成に向けた意欲が高まってきたときなどには、日本赤十字社三重県支部や町社会福祉協議会とも連携・協力を図りながら、必要な支援を行っていききたい。

問 日本赤十字社には地域奉仕団という組織がある。その役割は、地域の防災力向上のために、地域で炊き出しの指導をしたり、被災地へ赴いて人道支援などを行う様々な役割がある。この地域奉仕団を発足させてはどうか。

デジタル教科書の導入は

紙の教科書やデジタル指導書等を併用して活用していく（教育長）

答 教育長
国の方針や他の自治体の動向を注視しながら、紙の教科書やデジタル指導書等を併用して活用していく。

問 7月12日の中日新聞に財務省が全国の公立小・中学校の教員を対象に実施した調査において英語の授業でデジタル教科書のみを使って授業を行っているとした回答が3%にとどまったことが分かった。当町では、現状、どのような利用状況で、今後どのような利用計画なのか。

再 国は2028年に4回に1回の利用頻度を目指すというのだが、現状、当町はどれぐらいの利用頻度なのか。

再 国は2028年に4回に1回の利用頻度を目指すというのだが、現状、当町はどれぐらいの利用頻度なのか。

再 国は2028年に4回に1回の利用頻度を目指すというのだが、現状、当町はどれぐらいの利用頻度なのか。

中部電力とのタイアップをしたフレイル対策に関する考えは

社会情勢や既に実施している市町の効果等に注視し、しっかりと検討していく（町長）

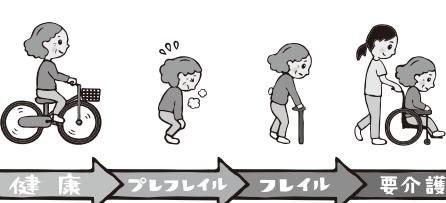
答 町長
利用者の同意が難しいことやコスト負担も考慮は必要だが、社会情勢や既に実施している市町の効果等に注視しながら、フレイル予防につながる新しい技術やサービスを踏まえて、しっかりと検討していききたい。

問 中部電力がスマートメーターを利用して早期にフレイル状態を検知するサービスを開始している。今後、当町への導入の考えはないか。

再 国は2028年に4回に1回の利用頻度を目指すというのだが、現状、当町はどれぐらいの利用頻度なのか。

再 国は2028年に4回に1回の利用頻度を目指すというのだが、現状、当町はどれぐらいの利用頻度なのか。

※フレイルとは要介護になる前の状態



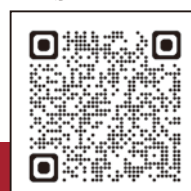
答 健康推進課長
現時点では、年間の基本料金とサービス利用登録人数に応じた費用負担が発生すると聞いている。具体的には、基本料金が162万8千円、登録人数に応じた登録料として100名ごとに22万円が加算され、100名までの登録者であれば合計で184万8千円の費用負担が生じると聞いている。

再 コスト負担はどれくらいなのか。



安藤 邦晃 議員

▼動画はこちら



漁業協同組合跡、教員住宅の今後の活用は

処分等も視野に入れ検討していく（町長）

再 中学校完成後はどうするのか。

答 町長
現在、中学校の新社舎が完成するまでの間、一時的に使用していない教材や教具を保管している。

問 教員住宅も長年利用されず放置されているが、今後の利用計画は。

答 町長
今後、限られた財源の中で多様な事業に取り組んでいく必要があり、将来の財政負担などから総合的に判断し、処分等も視野に入れながら検討していく。

問 町が漁業組合跡地を買収して約15年経つが、その間、放置状態になっている。今後この建物をどうするのか。

ふれあいバス引退後の利用は

売却の方向で検討している（町長）

答 福祉課長
手数料として

再 インターネット公売は行わないのか。

再 バス2台の購入日と走行距離

答 町長
町所有の動産物品であり、地方自治法等の関連法令に基づいた手続きにより売却の方向で検討している。

問 現在2台のふれあいバスが町内を運行しているが、10月よりバスが小型化になり、現行のバスは11月で引退する。引退後のバスの行く末は。

再 鈴鹿市では通学距離2km以上

答 学校教育課長
基本的に通学距離が4km以上が目安であり当町では該当する地区がないため難しい。

再 新しい方のバスとして利用できないか。

答 福祉課長
特定の備品を購入するといった契約に付された条件に基づき寄付ではなく、一般寄付として受けたものであり法的な問題は無い。

再 ゆたか号は寄付されたものと認識しているが、売却に法的な問題は無いのか。



引退するふれあいバス

答 学校教育課長
現状では難しい。

再 熱中症警戒アラートが発表された日だけでもスクールのバスの運行ができないか。

答 学校教育課長
当町においては、これまでのように徒歩での通学を基本としていきたい。

当町の水道水の安全性は

毎月検査を行う等安全で安心な水道水を安定して供給するよう努めている（町長）

▼動画はこちら



森 英郎 議員

問

町長
環境省が選定

生活に欠かせない水道水が危険にさらされていると、テレビや新聞等で報道されている。発がん性が指摘される有機フッ素化合物（PFAS）が各地の浄水場や河川で検出されている事態を受け政府が水道水の全国調査に乗り出したと、新聞報道にあった。PFASは水や油をはじき、熱に強い特徴があり、自然環境では分解されにくく「永遠の化学物質」とも呼ばれている。環境省が38都道府県の河川や地下水を対象にした2022年度の調査では、愛知、三重、福井など16都道府県で目標値を超えた事例があった。当町も調査の対象であるのか、水道水の安全性は大丈夫なのか。

答

上下水道課長
PFAS及び

PFOAが検出されたときの対応方法について三重県企業庁に確認したところ、活性炭による除去方法を予定している。

再

万が一検出されたらどのような対策を考えているか。

した調査地点の下流で水道水源としての取水がある箇所が対象となっており、川越町は三重県企業庁から水道水を全量受水しており、町として河川等から取水していないため調査の対象外。三重県企業庁は、しっかりと水道管理体制を整えており、水質基準項目である51項目について、毎月検査を行う等、安全で安心な水道水を安定して供給するよう努めており、水道使用者の皆様が安心して飲んでいただける。

川越町史の再編さんは

新たな歴史的変化があった場合や、大きな節目となる時期などを見据えて再編さんにあたりたい（町長）

問

昭和46年5月に初版が発行され、27年後の平成10年12月に新たに発行された。それから約26年経ち、その間、人口や世帯数も増え商工業も変

え、可能な場合に限りそのオープンスペースを車中泊避難所に指定したい。津波に備え民間施設の活用も視野に入れ、車中泊避難場所の確保に努める。車中泊時の健康管理は「災害時車中泊ガイド」等で更に周知を図りたい。民間企業と連携をした車中泊訓練等も検討する。

答

町長

過去の歴史的事項については、新たな事柄が発見されておらず、寄贈いただいた古文書についても、現町史に記載されている。近年の遍歴については、町史以外の媒体での情報発信も行っている。町史編さんには、数年という膨大な時間と労力を要する。新たな歴史的変化があった場合や、大きな節

化してきた。新しく中学校も建て替えられることとなり、町の景観も大きく変化してきている。新たに川越町に暮らし始めた方々やずっと暮らしている皆さんに改めて川越町の歴史や現状を知ってもらう機会になればといい、現在の町史に加筆し、4年後に前回から30年の節目になる令和10年に再編さんしてはどうか。

答

企画情報課長
古文書など新

たな資料や発掘調査等、現町史への反映が必要となった際や、町政施行何周年を迎える時期と考えている。

再

新たな歴史的変化とか、大きな節目となる時期とは

目となる時期などを見据えて再編さんにあたりたい。

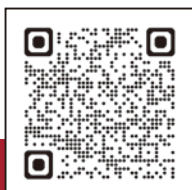


川越町史

認知症高齢者等に位置探知器（GPS端末）の貸与事業を

他の市町の効果的な事例も参考にして、しっかりと検討したい（町長）

▼動画はこちら



稲塚利夫 議員

問

町長

行方不明になる認知症高齢者等が年々増加している。更に安心して暮らせる地域づくりのため、現在地域、行政及び関係団体、警察等による人的見守りネットワークに加え、これらの方を対象に位置探知器（GPS端末）の貸与事業を行ったかどうか。



GPS内蔵シューズ

当町で実施してきた地域住民、地域組織、民間事業者等による地域ネットワーク機能の充実を図ることに加えて、ICT機器

問

自治体の災害対策の柱となる

国の防災基本計画が本年6月に改定され、避

避難所以外で避難生活をする人への支援は

被災状況等に応じて物資等の配布場所を決定し、車中泊避難場所の確保に努めたい（町長）

答

町長

①今後、当町が推奨する地区防災計画を作成していく中で、当町と共に効果的な手法も探っていたければと考えている。②避難所外避難者には被災状況等に応じて食料や物資の配布場所を決定し供給に努める。車中泊避難の場所は災害の種類により異なるが、基本的には既存の避難所を支援拠点と考

難所以外で避難生活を送る避難者等への支援が強化される。そのため、①自治体、保健師、福祉関係者の連携による状況把握の実施。②在宅避難者、車中避難者に対する支援拠点の設置や被災者支援に係る情報の提供等。が計画の主な柱として追加された。当町はこれらの支援をどのように行うのか。

再

災害発生時に住民の多様な避難先を自主防災組織等のみで迅速に把握することは難しい。地区との連携は必要だが、町行政は避難所外避難者の把握をいかに行うのか。

再

防災に女性の視点や意見はどのように反映されているのか。

答

安全環境課長
体験型避難所

運営訓練等に担当の女性職員を入れ、意見を聞き検討している。【質問者の思い】防災・減災には計画検討会議など初期段階から、更に女性の意見の反映を図る取組みが大切なのではないか。



車中泊避難のイメージ

庁舎敷地内ビオトープの環境整備は

親しみやすい憩いの庁舎を目指して維持する
(町長)

▼動画はこちら



寺本由美 議員



ビオトープの様子

町長
答 庁舎敷地内のビオトープは、「環境にやさしい庁舎」のコンセプトにより農業用

問 庁舎敷地内は、ビオトープで水生生物の観察や芝生付近で遊ぶ子どもたち、敷地内を散歩する人などの憩いの場になっている。しかし、ビオトープはポンプの故障で水はほとんどないのが現状だが環境整備は、

水路から水中ポンプでくみ上げている。耕作時期等により水量の変動や水中ポンプ不具合の発生など、ビオトープの水量が安定しない場合がある。今後地元農家組合の協力をいただき、水源を確保しつつ、できる限り人の手を加えず、なるべく自然に近い形で維持し、笑顔で元気な活気ある親しみやすい憩いの庁舎を目指して維持していく。

答 教育長 令和5年度から町内在住の小・中学生を対象に、各検定の

問 実用英語技能検定(英検)・日本漢字能力検定(漢検)・実用数学技能検定(数検)の受検料助成事業を実施しているが児童・生徒の反応は、

学力検定受検支援事業の進捗状況は

目標に向かってチャレンジする支援事業に(教育長)

答 教育長 小・中学校のPTA総会で支援事業の説明を保護者の方に行い、児童生徒の背中

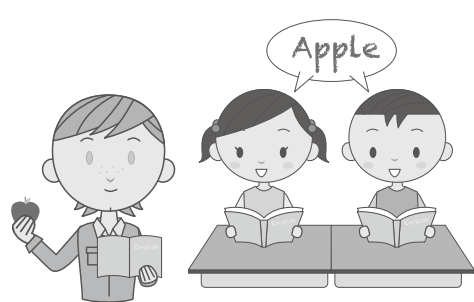
問 今後の課題は、

答 教育長 英検50人(小学生24人・中学生26人)、漢検47人(35人・12人)、数検5人(2人・3人)。

問 各受検料申請者数は、

受検料の半額補助を行うことで、検定促進並びに児童・生徒の学力及び学習意欲の向上につなげることを目的とし、年間各教科1回分を支援している。小学生から中学生まで幅広く各検定に挑戦したいと思う児童生徒は増加している。

を押す役目をしていただき、子どもたちにチャレンジしてほしい。残念ながら不合格でも支援事業を活用して再挑戦も大切。受検者数の増加を目指すことを通して、子どもたちには目標に向かってチャレンジする気持ちを持ち続けることができるような支援事業でありたい。



救助用ボートとライフジャケットの配備数は

一定数配備している(町長)

▼動画はこちら



杉本雅照 議員

町長
答 川越町内に救助用ボートは4か所に1艇ずつ配備、救助用ライフジャケットについては、16か所に計7

問 当町はハザードマップにもほぼ100%の浸水予想がされているが、救助用ボート配備が4か所に1艇ずつ、救助用ライフジャケットが各消防車庫に5着ずつの配備と聞いている、その数で十分だと考えているのか。

【質問者の思い】津波や洪水時において、浮いて息が出来ることが、生存への最低条件なので、身近な場所へのライフジャケット配備、救助用ボートの配備の必要性を問いたい。

再 地区防災計画については、今後どれぐらいをめどに策定の予定か。また、その計画ができた際には、川越町はどのような公助を行うのか。

13着が配備している。川越町では、各区の事情に応じた防災対応を進める地区防災計画の作成を推奨しており、要望があれば協力していく。この計画が作成される場合には救助活動についても検討すると思うので、救助用ゴムボート及び救助用ライフジャケットをはじめとした資器材の配備については、その実効性や優先順位を自主防災組織、地区消防団と川越町でしっかりと検討していきたいと考えている。

再 防災について、やる気のある地区の自主防災組織や消防団から要望があれば、救助用ボートの配備も含めて検討会、研修会を通じて幅広い知識や技術を習得できるように協力していくということでしょうか。

答 安全環境課長 防災に関する状況にない状況にあるため、早急にこの防災計画を作成して、地域の防災力を高めていただくことを推奨していく。公助については、各地区からの要望があれば、検討会や研修会を行うなど、幅広い知識や技術を習得できるよう協力していく。



ゴムボートを使っの救助イメージ

答 安全環境課長 当町が推奨する地区防災計画については、積極的に取り組んでいただける地区から要望があれば、順次、公助の一環として協力していきたい。

助ボートについては、先ほど町長の答弁にもあったとおり、資器材の機能や効果、管理上の問題等を踏まえた上で、しっかりと検討していきたい。

豊田一色ホタルの会

豊田一色を流れる水路は朝明川の伏流水で、農業用水路でもあります。私たち



はその水路でゲンジボタルの生育を守る活動を行っています。ホタルの幼虫のエサとなるカワニナという黒っぽい巻貝に野菜くずを与えて育てたり、川の清掃活動を行ったりしています。幼虫は5、6回ほど脱皮を繰り返し、土に潜りさなぎになり成虫となりますが、幼虫やさなぎも光を放ちます。

毎年6月第一土曜日には豊田一色ホタル祭を開催しています。午前中はホタルのお話や絵本の読み聞かせ、夜はホタル鑑賞会でやさしい灯りに癒されます。今年は合わせて100名以上の方が参加され、とても豊かな時間を過ごされました。ホタルを身近に感じてもらい、自然環境の大切さを体感してもらいたいと思っています。

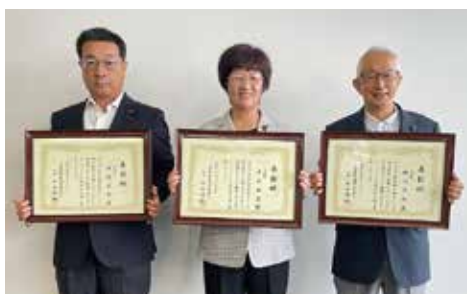
私たちと一緒にホタルと共存できる恵まれた環境を守っていきましょう。

川越町ボランティアセンター

☎365・0024

功労者表彰

先日、町村議長会から、13年以上議員として活動をしてきた功労者に対して表彰状が授与されました。対象は柳川平和議員、寺本由美議員、松岡正敬議員の3名です。



教育民生常任委員会視察研修

9月25日に神奈川県大和市、26日に埼玉県戸田市に研修に行っていました。特に2日目の戸田市では、川越町でも増加傾向にある不登校問題に対する先進地視察ということで、大変内容の充実した研修をさせていただきました。今後当町の問題解決に向けて、行政と一緒にタッグを組んで取り組んでまいりたいと思います。



編集後記

かつてない猛暑の夏もようやく落ち着いた。秋の気配を感じられる日々となりました。この度、山下副議長の辞職に伴い、9月30日の臨時会において副議長の職に就くことになりました。森 英郎です。残任期間となります。甚だ微力でございますが、川越町議会発展に誠心誠意務めてまいります。広報特別委員会委員も引き継がせていただきます。少しでも親しみやすい紙面作りに努めてまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

森 英郎 (記)

お知らせ 令和6年 第4回 定例会予定

日	月	火	水	木	金	土
12/1	2	3		5 本会議 (開会)	6	7
8	9 総務建設 常任委員会	10 教育民生 常任委員会	11	12	13	14
15	16	17 本会議 (閉会)	18	19	20	21

議会を傍聴してみませんか。傍聴することで町政への知識を深め、町議会の活動を知ることができます。また、本会議当日は、役場1階ロビーのテレビにて、議会の模様をライブ配信しています。

また、本会議(開会)の日には託児を実施しています。

事前予約が必要ですので、11月27日までこちらのQRコードからお申込みください。





かわごえ子ども議会だより

令和6年8月8日 子ども議会一般質問

川越南小学校・川越北小学校の児童12名が、川越町役場を訪問し議会を体験。
町議会議員とともに「子ども議会」を開催しました。



村上 颯香 議員	堀川 真央 議員	…2
林 七奈 議員	大矢 穂香 議員	…3
早川 結菜 議員	阿竹 桃子 議員	…4
加藤 悠衣 議員	木村 耀成 議員	…5
須賀浦 想 議員	七尾 唯愛 議員	…6
服部万里子 議員	林 龍之介 議員	…7
子ども議会日程・あとがき		…8



南小学校6年B組
林 七奈 議員

公園のトイレや遊具をもっときれいに

問 町の公園はトイレの環境があまりよくないの、みんなが気軽に使えるトイレにしてはどうでしょう。

答 町には、行政や自治会が管理している公園や、民間企業が管理している公園などがあります。トイレの清掃活動や、遊具の点検・修理など、さまざまな取り組みを行っています。また、自治会や民間企業と連携して、トイレの清掃や、遊具の点検・修理など、さまざまな取り組みを行っています。



北小学校6年2組
村上 颯香 議員

広い公園を造る予定は

問 ゲームばかりして運動不足なので、広い公園を遊びたいです。広い公園を造る予定はありますか。運動不足解消のために必要だと思いませんか。

答 町内には22カ所の公園があり、今後も増やしていく予定です。また、バスケットボールコートや、サッカーコートなど、さまざまな施設を整備しています。また、バスケットボールコートや、サッカーコートなど、さまざまな施設を整備しています。

小学校の高学年や中学生が思い切り遊べる室内を

問 児童館は小さい遊び場、椅子も小さい、場所を造ってはどうですか。

答 児童館は、子どもたちが集まる場所として、今後も活用していきます。また、学校の体育館や、地域の公民館など、さまざまな施設を活用して、思い切り遊べる室内の遊び場を造っていきます。



楽しく遊べるプールを造っては

問 学校のプールは、水が汚い、泳ぎにくい、楽しめない。もっと楽しく遊べるプールを造ってはいいですか。

答 学校のプールは、定期的に清掃を行い、水質を管理しています。また、泳ぎやすいように、浅いプールや、水遊び用の施設を整備しています。また、泳ぎやすいように、浅いプールや、水遊び用の施設を整備しています。



学校に給食費を払うだけでメニューを選んで食べることができる食堂はできないか

問 毎日おいしい給食を作ってくれてありがとうございます。メニューを自分で選べる食堂はできないか。

答 給食費を払うだけで、メニューを選んで食べる食堂は、現在のところありません。給食費を払うだけで、メニューを選んで食べる食堂は、現在のところありません。



南小学校6年A組
大矢 穂香 議員

点字ブロックを増やすことはできないか

問 点字ブロックを増やすことはできないか。

答 点字ブロックを増やすことは、現在のところありません。点字ブロックを増やすことは、現在のところありません。



北小学校6年3組
堀川 真央 議員

町民体育館のプールを再び使えるようにできませんか

問 町民体育館のプールは、現在、町民プールとして使われています。再び使えるようにできませんか。

答 町民体育館のプールは、現在、町民プールとして使われています。再び使えるように、設備の点検・修理など、さまざまな取り組みを行っています。また、設備の点検・修理など、さまざまな取り組みを行っています。



ウサギ小屋をなくして駐輪場に

問 ウサギ小屋をなくして、駐輪場にしたいです。

答 ウサギ小屋をなくして、駐輪場にしたいです。また、ウサギ小屋をなくして、駐輪場にしたいです。また、ウサギ小屋をなくして、駐輪場にしたいです。



空いている飼育小屋で鶏やウサギなど
動物を飼うという考えは北小学校6年1組
加藤 悠衣 議員

問 理由は、動物が苦手な人でも興味を持つてもらえるから、命の大切さを学べるから、食べ残し生ごみを食べてくれるからです。以上のことから、動物に対しての優しい気持ちを養うことができるのではないかと思います。

答 鶏やウサギなどを飼育することで、動物が苦手な人が興味を持つ、命の大切さを学べる、食べ残しなどを食べてもらえるなどのよい点があると思います。

そもそも動物を飼う、飼わないについては、各学校で相談をして決めていくものだと思っています。また、動物を飼うとなると、長期休暇における餌やりや水やり、また、きれいな環境を整えるためにふんの掃除などが必ず必要になってきます。

そういったことに意識を持って、飼う、飼わないを学校で決めてもらえればよいのではないかと思います。

北小学校の校庭の水路を安全にできないか



問 メタセコイアの根で水路の壁が崩れているところが多くある。ボールを拾いに行くときに崩れておいて、足を取られ、大変危ないです。

答 根が伸びて水路の壁と水路の間には、一部を除きフェンスが設置されておりません。

この水路にボールなどが落ちたときの課題を抜本的に解決していくために、メタセコイアの調査を行いました。その結果、水路の補修のために根っこを切れば、大きく成長した木を支えることができなくなると、倒木の危険性が高まるということがわかりました。また、ボールなどの落下を防ぐためにフェンスを設置しようとするれば、フェンスを支えるために基礎となるコンクリートを打つために根を切りなくしてはならないこともわかりました。いずれの場合におきましても、木を伐採する必要があり、北小学校のシンボルとなつてい歴史ある大切なメタセコイアを伐採することは心苦しく、場所を変えて植えることも技術的に難しい状況です。

全家庭に防災グッズを配る考えはないか

南小学校6年A組
早川 結菜 議員

問 日常生活の中で、南海トラフ地震や伊勢湾台風、最近増えてきた線状降水帯などの大災害に対する意識が低いと思います。

答 当町としては、各家庭で備蓄をして災害から身の安全を守るために自分たちで備える自助を推奨しています。理由は各家庭によって必要となる防災グッズが異なるので、災害発生時にどこに避難するか、そのために何を備蓄しておく必要があるのかを家族で集まって考え、災害や防災対策について話し合い、実際に買いに行くなどの実践をすることが本当の意味での防災意識を高めることにつながると思います。

町としては、公助として引き続き住民の皆様への備えを計画的に進めてまいります。

歩道を広げてほしいです



問 歩道が狭くて自転車が通りにくいです。ぶつかりそうになって、大変危険な思いをしました。そこで、歩道部分をもっと広げることができないでしょうか。考えをお聞かせください。

答 町内の道路はもともと道幅が狭く、そこには建物や立ち並んでおり、新たに歩道や自転車専用交通帯をつくるためには、家や塀などをどけてもらい、新しく土地を買わなければならぬので、長い期間がかかってしまい、簡単にすることができないのが現状です。

そのため、町では、通学路を中心に、道路の端っこを緑色に塗って、車の運転手から歩行者が通る場所であるということを分かりやすくする対策を行っております。

今後、新しく道路を造るときは、できる限り自転車も通行できる歩道を設置した道路を造っていきたくと考えております。

町の中にもっと水の出る場所ができないか

北小学校6年3組
木村 耀成 議員

問 暑い日は水筒の水がなくなることが多いです。もしも下校中になくなつてしまつたら、家が遠い人は熱中症になつてしまつたり、どこかに水を飲める場所をつくってほしいと思います。

答 学校では以下のような対策を行っております。

1、水筒の補充の指導です。学校で水を補充してから帰るように指導しています。

2、子ども110番の家などの活用です。協力いただいた中庭に家庭がなくなったとき、避難場所としてお願いの文書を送付しています。

3、クールリングなどの使用についてです。体温の上昇を抑えるため、クールリングなどの使用を進めています。

水飲み場や給水スポットを設置するには、機械の管や衛生面の問題など、いくつかの課題が考えられます。

町内にごみステーションは何か所あるのでしょうか

南小学校6年A組
阿竹 桃子 議員

問 川越町内にごみステーションが何カ所あると思いますが、全部で何カ所あるのでしょうか。またそのごみステーションがカラスや猫などに荒らされていたり、ごみステーションが荒らされないようにどのような対策を取っていますか。

答 当町には537カ所にごみステーションがあります。そのうち、箱タイプ等の蓋や扉がついているステーションは39カ所、ネットフェンスやブロックで囲われたステーションは81カ所あります。残りの63カ所につきましては、周辺に適した場所がないため設置できず、カラスや猫よけ用のネット等を使用しながら利用をされています。

地区のごみステーションは自治会からの要望により設置や改善をするため、今後も区長さんから要望をいただき、可能な限り箱タイプ等の新設や変更に向けて努めてまいります。

男子更衣室がなぜないのか



問 女子更衣室は確保されていますが、男子更衣室をつくってほしいです。

答 本来であれば、誰が行うことができるようになることが一番であると思います。ただ、現在の北小学校の教室の数や特別教室、また少人数教室などの状況からすれば、いつでも使用できる男子更衣室をつくることは難しいと考えられます。そのため、トイレを活用してもらったり、自分の教室においても短時間で素早く着替えてもらったりしながら、対応をしていただいているのではないかと思います。

北小学校の皆さんにお誘いがあるのですが、自分たちの教室で着替えている間は、教室の外で待っている間、利用しない特別教室などを使用するなどの方法で力を仰いだりする必要があらうと思います。

高松海岸のごみをなくしてはどうですか



問 高松海岸のごみを海に生きた物が食べ物と勘違いして食べて死んでしまうことが考えられるので、そういったことのないように、ごみをなくしていく取り組みをしてはどうですか。

答 まず、高松海岸の管理者は、町でなく、三重県であります。この件を管理者である三重県に確認したところ、昨年度、高松海岸の清掃及び流木の撤去に多額の費用を支出するなど、海岸の美化に努めていると聞いております。

このような中で、町としても、昨年度、4つの団体が海岸清掃活動をした際には、ごみ袋の提供や集めていただいたごみの回収、処分等の協力を行っています。引き続き、町では、海岸等へのごみを捨てない呼びかけを行っていくとともに、三重県と連携、協力をしてまいりたいと考えています。

ごみステーションの増設や、公園にごみ箱を作ることはいらないか



北小学校6年2組
服部万里子 議員

問 マンションや家が密集している所のごみステーションは、ごみが一杯になつていくときがあるが、増やしてはどうですか。また、ごみのポイ捨てを少しでも減らすために、公園にごみ箱を作ってはどうでしょうか。

答 ごみステーションは、管理会社等が設置し、管理するものと、自治会の要望により町が設置し、自治会が管理するものがあります。町が設置するものには、容量の制限はありますが、ごみの量は時期や指定期間の天候等により増減することもあるため、必要に応じて増設の要望により必要に応じて増設します。

ごみ箱が設置されている公園もありませんが、家庭ごみの持ち込みや不法投棄などが相次いだことから、公園の清掃や管理等をいたしている自治会の意向により、ごみ箱を撤去した経緯もあり、現在、ごみ箱は設置していません。条例では、町を美しくする条例を制定しており、町としてポイ捨てへの対策をしっかりと行います。

問 マンションや家が密集している所のごみステーションは、ごみが一杯になつていくときがあるが、増やしてはどうですか。また、ごみのポイ捨てを少しでも減らすために、公園にごみ箱を作ってはどうでしょうか。

答 マンション等においては、管理会社等が設置し、管理するものと、自治会の要望により町が設置し、自治会が管理するものがあります。町が設置するものには、容量の制限はありますが、ごみの量は時期や指定期間の天候等により増減することもあるため、必要に応じて増設の要望により必要に応じて増設します。

涼しく集中して勉強できる学習施設を増やしたらどうか

問 現在、空調が完備で勉強できる施設が少ないので、涼しく勉強できる施設を増やしたらどうか。

答 現在、空調が完備で勉強できる施設は、図書館や公民館などがあります。また、学校の図書室や、地域の学習センターなどでも勉強することができます。涼しく勉強できる施設を増やすためには、空調設備の整備や、涼しい環境の確保が必要です。



川越町全体で夏祭りを開催してはどうか



南小学校6年B組
林 龍之介 議員

問 川越町全体で夏祭りを開催してはどうか。

答 川越町には、各地区で夏祭りが開催されています。町全体で夏祭りを開催することは、地域の活性化や、住民の交流に役立ちます。また、観光客の誘致にも効果的です。

問 川越町全体で夏祭りを開催してはどうか。

答 川越町には、各地区で夏祭りが開催されています。町全体で夏祭りを開催することは、地域の活性化や、住民の交流に役立ちます。また、観光客の誘致にも効果的です。

川越町に博物館などの施設を造っては

問 川越町に博物館などの施設を造ってはどうか。

答 川越町には、歴史や文化の宝がたくさんあります。博物館などの施設を造ることで、その宝を後世に伝えることができます。また、観光客の誘致にも効果的です。



災害に関する会を年に1・2回開催してはどうですか



南小学校6年B組
須賀浦 想 議員

問 災害に関する会を年に1・2回開催してはどうですか。

答 災害に関する会は、防災意識の向上や、防災知識の普及に役立ちます。また、防災グッズの配布や、防災訓練の実施など、様々な取り組みを行うことができます。

街灯を増やしては

問 街灯を増やしてはどうか。

答 街灯を増やすことで、夜間の安全性が向上します。また、地域の治安の向上にも効果的です。



不登校対策の教室を作ってはどうか



北小学校6年1組
七尾 唯愛 議員

問 不登校対策の教室を作ってはどうか。

答 不登校対策の教室を作ることで、不登校の児童の支援に役立ちます。また、児童の心のケアにも効果的です。

文房具や学習書が充実した店を作る考えは

問 文房具や学習書が充実した店を作る考えはどうか。

答 文房具や学習書が充実した店を作ることで、児童の学習環境の向上に役立ちます。また、児童の学習意欲の向上にも効果的です。





体験の様子



子ども議会事前研修会の様子

子ども議会日程

7月22日 事前研修会

8:45 議場で説明会

9:30 全員協議会室で
質問通告書の作成

8月8日 子ども議会本番

9:00 一日議員任命式

9:15 リハーサル

10:00 子ども議会開会

11:45 終了後写真撮影



町長挨拶



任命式



CCNetの
インタビュー



8月8日に4回目となる子ども議会を開催しました。
川越南・北小学校6年生の12名が議員となり、事前研修
日に質問通告書を作成し、一般質問の準備をしました。

各クラスで、「私たちの暮らしを良くするために考え
よう」と話し合った内容に私たちも課題をいただいた思
いです。子ども議会当日は緊張した様子でしたが、真剣
に堂々と質問する姿やきちんと答弁を聞く姿が印象的で
した。この経験を将来に生かしていただければ幸いです。

そして、子ども議会開催にご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。今後も継続してい
きますので、ご協力をお願いいたします。

川越町議会議員 寺本 由美

